



永田クラブ・経済研究会・文部科学記者会・科学記者会へ貼り出し  
学術記者会へFAX送付  
環境省記者クラブ・環境記者会で同時発表

令和元年9月19日  
内閣府日本学術会議

## 日本学術会議会長談話 「地球温暖化」への取組に関する緊急メッセージについて

昨年 IPCC（気候変動に関する政府間パネル）から、地球温暖化を、産業革命以降、（パリ協定で合意された）2°Cではなく、1.5°Cに抑えることで、温暖化に伴う海面上昇、気象・水災害、生態系への影響などを、大きく軽減できるという特別報告が出されました。しかし、そのためには、今後10年間で温室効果ガス排出量を45%削減し、2050年までに正味ゼロ・エミッションを達成するという高いハードルを超えねばなりません。

ただ、そのために「我慢や負担」をするのではなく、エネルギー、交通、都市、農業などの経済と社会のシステムを変えることにより、豊かになりながらこれらを実現する道が残されています。日本学術会議は、わが国の科学者の内外に対する代表機関として、この「残された道」への取り組みを加速するために、日本の研究者も国民の皆さまと強く協働していく覚悟であることを、日本学術会議会長から国民の皆さまへ「『地球温暖化』への取組に関する緊急メッセージ」として届けることにいたしました。

世界的にもこの動きを加速するために、国連気候行動サミット2019（UN Climate Action Summit 2019）が9月23日にニューヨークで開催されます。この国連での動きとも呼応して、英訳された日本学術会議会長談話は、わが国の科学者界の取り組みとして国際的に発信いたします。

※会長談話については、日本学術会議ホームページ（下記URL）に掲載しています。

（日本語）<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-d4.pdf>

（英訳）<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-d4e.pdf>

### 問合せ先

フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会  
委員長 安成 哲三（総合地球環境学研究所所長）

Te l : 075-707-2101

日本学術会議事務局参事官（審議第二担当） 犬塚 隆志

Te l : 03-3403-3288